



全力投球

湖南省立石部中学校 学校便り NO8

☆スマホから ホームページ右上▷ 三 ▷2020 広報

☆パソコンから ホームページ▷続きを読む▷2020 広報
カラーで見えていただくことができます。

創意工夫を凝らした文化祭が実施できました。

トバ・ムスベ・イシバ ～無限の彼方へ、さあ行くぞ！～



石部中学校文化祭

中学生の皆さんの柔軟な発想に感服



左上：全校生徒でつくったモザイクアート。全力投球の坂の下から見上げた校舎の姿が美しく描かれています。全校に披露したとき、その完成度の高さにどよめきと拍手が起こりました。



左中：吹奏楽部の演奏は映像で各教室に届けられました。その後、部員の皆さんが各教室を訪問し、プラカップを使ったリズム運動（CUPS）を教えてくださいました。練習した後、音楽に合わせて全校生徒が一斉にリズムを刻みました。写真は練習風景です。



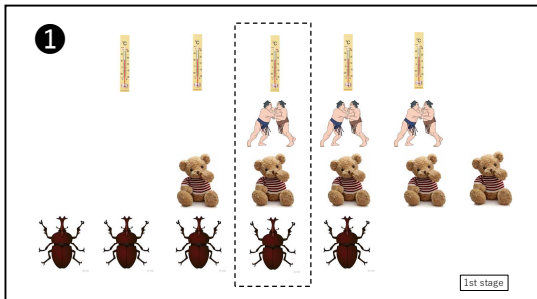
左下：芸術鑑賞 今年度は、ボルトボルズさんに来ていただき漫才とサイエンスショーをしていただきました。サイエンスショーでは、静電気や空気砲などの実験を見せていただき、全校で楽しむことができました。



右：作品展 家庭、美術、書道など生徒の作品を廊下に展示しました。写真は理科有志の作品で手作りの望遠鏡です。

新型コロナウイルスの感染症予防を行いながらの行事となりました。生徒会の皆さんを中心に、今までになかった新しい取り組みも考えだしてくれました。学級対抗の全校クイズ大会も初めての取り組みでした。課題をクラスで解いていきます。全校ですべての課題を最初に解き明かしたのは、1年1組でした。全校クイズ大会の最初の課題をのせておきます。ぜひ、解いてみてください。

2枚のカードから、指示される内容を考えます。（答えは裏面の下にあります。）



① に
青春一ひなまつりでいけ。



生徒会役員の皆さんの紹介

生徒会長 山本 埜乃さん

副会長 村田 奈優さん 隅田 悠生さん

栄養委員長 平井 恵翔さん

生活委員長 柴垣 莉央さん

保健・安全委員長 北村 優典さん

体育委員長 川崎 晃上留さん

図書委員長 東畑 花凜さん

環境委員長 谷川 瑠菜さん

執行部員 花房 榎小さん

前田 幸希さん 前田 洋希さん

多田 史弥さん

神山 龍飛さん

山口 晴生さん 小笠原 千尋さん

よろしくお願いします。

行事予定 (新型コロナウイルス感染症流行により変更する場合があります)

12/4 (金) ジャンプ交流会
 12/11 (金) ワックスがけ
 12/15 (火) ~12/21 (月)
 3年生三者懇談会
 12/24 (木) 大掃除
 12/25 (金) 終業式 (給食なし)
 アンサンブルコンテスト
 12/26 (土) ~冬季休業

1/6 (水) 始業式、給食開始
 2、3年実力テスト 1年確認テスト
 2/4 (木)、5 (金)
 県内私学入試
 2/8 (月)、9 (火)
 特推スポ文入試
 2/18 (木) (給食なし) 2/19 (金)
 学年末テスト



3/9 (火) 公立一般入試
 3/15 (月) 卒業式
 3/16 (火) 公立合格発表
 3/24 (水) 修了式
 3/25 (木) ~春季休業



ウサギのふん (校長のつぶやき)

今年度は休校期間にグラウンドに雑草がたくさん生えました。体育祭に向けて全校生徒でも草むしりをしました。それでも雑草は減りませんでした。体育祭準備ではコースの草をぬくのに、かなりの労力をかけました。その草を食べにきているのか、はたまた学校が動物界のジムになり、運動不足の解消のためか、グラウンドには、ウサギやシカなどがやってきているようです。グラウンドには「ふん」がたくさん落ちていました。体育祭の練習前には毎日ほうきとちりとりを持って、先生方がそうじをしてくださっていました。

50年前に大阪から滋賀県に引っ越ししてきました。自然が豊かなところに引っ越しきて一番うれしかったことは、カブトムシが私の住む団地の街灯にとんでくることでした。早起きすれば街灯の下にカブトムシが落ちています。(大阪では、夜店で売っているカブトムシしか見たことがなく、泣いて買ってもらったこともあります。) 池には、ギンヤンマなどのトンボもおり、食虫植物のモウセンゴケなども見つけることができました。小川には、メダカが泳ぎ、友だちとはさみうちにしてつかまえました。他に、引っ越ししてきた当初は、トンビが非常に怖かったのを覚えています。自転車で乗っていて、地面にトンビの影がうつると、「狙われている。さらわれる」と本気で思っていました。

あるとき、まだ住宅ができていない造成地にかけあがると、何かの卵らしきものを見つけました。家に持ってかえり、ガーゼに包んで布団の中に入れて温めていました。数日たっても変化がないので友だちに見せました。「おまえ、それ、ウサギのうんちやぞ!」。残念なことです。「ウサギの排出物をガーゼにくるんで一緒に寝ていた。」という衝撃の事実だけが残りました。

滋賀県に引っ越していなかったら、私は理科の教師をめざしていたのかな?と思うことがあります。自然にたくさん触れるなかで、植物や動物に興味を持ったことが、理科を好きになったきっかけだったからです。

世の中には、すべての人に、その人が成長したり、目標を見つけたりするきっかけとなることがあるのだなと思っています。



※滋賀県建設業協会甲賀支部様のご厚意で、グラウンド改修をしていただきました。あれほど雑草が多かったグラウンドが整地されました。本当にありがとうございました。大切に使用していきます。



おめでとうございます!

「湖南市の小さな詩人たち事業」表彰者

〈詩部門〉最優秀賞 杉江 夢羽さん 佳作 隅田 万琴さん

〈五七五部門〉優秀賞 栽松 嵩拓さん 佳作 北村 優典さん

〔答え〕ドリームに1人でいけ (ドリームホールにひとりで行け)

